



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社琉球銀行 上場取引所 東・福  
 コード番号 8399 URL <https://www.ryugin.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 島袋 健  
 問合せ先責任者(役職名) 総合企画部長 (氏名) 山入端 裕哉 TEL 098-866-1212  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 ー  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,769	13.3	2,916	76.9	2,029	78.6
2024年3月期第1四半期	15,680	13.1	1,648	△2.8	1,136	△3.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △1,184百万円(△192.1%) 2024年3月期第1四半期 1,285百万円(383.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	49.01		48.95	
2024年3月期第1四半期	27.33		27.26	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2025年3月期第1四半期	3,039,694		140,109		4.6	
2024年3月期	3,067,017		142,564		4.6	

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 140,073百万円 2024年3月期 142,500百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年3月期	—	18.50	—	18.50	37.00
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	3,500	△35.0	2,300	△40.5	55.20	
通期	8,500	0.6	5,700	0.9	136.80	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	43,108,470株	2024年3月期	43,108,470株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,808,412株	2024年3月期	1,440,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	41,415,699株	2024年3月期1Q	41,574,385株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	P. 4
四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6
(5) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	P. 6
(6) セグメント情報等の注記	P. 7
(7) キャッシュ・フロー計算書に関する注記	P. 7
2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料	P. 8
1. 損益の概況【連結】	P. 8
(1) 概況	P. 8
(2) 参考 連結子会社の損益の状況	P. 9
2. 損益の概況【単体】	P. 10
(1) 概況	P. 10
(2) 損益分解情報	P. 11
3. 預金・貸出金等の状況	P. 12
(1) 預金（単体・未残および利回り）の推移	P. 12
(2) 預かり資産（単体・未残）の推移	P. 13
(3) 貸出金（単体・未残および利回り）の推移	P. 14
(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移	P. 15
(5) 金融再生法開示債権の推移	P. 16
(6) 自己資本比率（連結・単体）の推移	P. 17
(7) カード業務利益（単体）の推移	P. 18
(8) りゅうぎんVisaデビットカード会員数および加盟店契約数の推移	P. 18
(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移	P. 19
(10) リース業務利益（連結）の推移	P. 19

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

経常収益は、株式等売却益や貸出金利息、リース業における売上高の増加等により前年同期比20億89百万円増加の177億69百万円となりました。

一方、経常費用は、人件費やリース業における売上原価の増加等により前年同期比8億22百万円増加の148億53百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比12億68百万円増加の29億16百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比8億93百万円増加の20億29百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

財政状態について、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比273億23百万円減少の3兆396億94百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比24億55百万円減少の1,401億9百万円となりました。

主要勘定としては、預金等(譲渡性預金を含む)は、個人預金を中心に増加したことから、前連結会計年度末比7億3百万円増加の2兆8,369億51百万円となりました。貸出金は、地公体向け貸出の返済等により残高が減少したことから、前連結会計年度末比103億84百万円減少の1兆8,715億62百万円となりました。有価証券は主に国債の取得等により前連結会計年度末比1,078億9百万円増加の8,000億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日公表の第2四半期(累計)連結業績予想に対し、当第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の進捗率は約88%となっております。しかしながら、金融市場の動向が業績に与える影響を見極める必要があることから、2025年3月期の第2四半期累計期間ならびに通期の連結業績予想は変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	341,755	234,962
コールローン及び買入手形	246	267
金銭の信託	522	514
有価証券	692,245	800,054
貸出金	1,881,946	1,871,562
外国為替	4,493	2,352
リース債権及びリース投資資産	26,192	26,486
その他資産	69,448	50,585
有形固定資産	36,110	38,182
無形固定資産	3,307	3,394
退職給付に係る資産	1,705	1,696
繰延税金資産	4,569	5,658
支払承諾見返	12,280	11,962
貸倒引当金	△7,806	△7,985
資産の部合計	3,067,017	3,039,694
<b>負債の部</b>		
預金	2,793,883	2,810,171
譲渡性預金	42,365	26,780
債券貸借取引受入担保金	27,676	3,060
借入金	19,271	18,552
外国為替	64	63
その他負債	25,123	25,816
賞与引当金	820	230
役員賞与引当金	10	-
退職給付に係る負債	565	565
役員退職慰労引当金	24	26
偶発損失引当金	76	72
ポイント引当金	173	172
利息返還損失引当金	176	168
再評価に係る繰延税金負債	1,940	1,940
支払承諾	12,280	11,962
負債の部合計	2,924,453	2,899,585
<b>純資産の部</b>		
資本金	56,967	56,967
資本剰余金	14,244	14,250
利益剰余金	72,797	74,055
自己株式	△1,417	△1,896
株主資本合計	142,590	143,377
その他有価証券評価差額金	△1,223	△4,436
土地再評価差額金	796	796
退職給付に係る調整累計額	337	336
その他の包括利益累計額合計	△90	△3,304
新株予約権	64	35
純資産の部合計	142,564	140,109
負債及び純資産の部合計	3,067,017	3,039,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	15,680	17,769
資金運用収益	7,262	7,718
(うち貸出金利息)	6,488	6,732
(うち有価証券利息配当金)	715	924
役務取引等収益	2,932	3,238
その他業務収益	4,889	5,559
その他経常収益	596	1,252
経常費用	14,031	14,853
資金調達費用	480	311
(うち預金利息)	23	115
役務取引等費用	1,436	1,446
その他業務費用	4,769	5,486
営業経費	7,115	7,318
その他経常費用	229	289
経常利益	1,648	2,916
特別利益	0	-
固定資産処分益	0	-
特別損失	1	15
固定資産処分損	1	15
税金等調整前四半期純利益	1,647	2,900
法人税、住民税及び事業税	268	642
法人税等調整額	242	228
法人税等合計	510	871
四半期純利益	1,136	2,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,136	2,029

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,136	2,029
その他の包括利益	149	△3,213
その他有価証券評価差額金	143	△3,213
退職給付に係る調整額	5	△0
四半期包括利益	1,285	△1,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,285	△1,184

（3）継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ありません。

（5）四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

（会計方針の変更）

（法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、当連結会計年度の所得に対する法人税、住民税及び事業税等を、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することといたしました。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（6）セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用 保証業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	10,130	4,001	742	136	669	15,680	0	15,680	—	15,680
セグメント間の内部経常収益	163	41	176	41	244	668	118	786	△786	—
計	10,294	4,042	918	178	913	16,348	118	16,467	△786	15,680
セグメント利益	1,309	110	104	148	△11	1,660	10	1,670	△22	1,648

（注）1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務、産業・経済・金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用 保証業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	11,538	4,590	752	118	768	17,768	0	17,769	—	17,769
セグメント間の内部経常収益	316	34	185	43	61	641	78	720	△720	—
計	11,854	4,625	938	162	830	18,410	79	18,489	△720	17,769
セグメント利益	2,651	157	115	134	42	3,100	12	3,112	△196	2,916

（注）1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務、産業・経済・金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（7）キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
減価償却費	753百万円	813百万円
のれんの償却額	7百万円	7百万円

2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

1. 損益の概況【連結】

(1) 概況

連結の経営成績は、経費の増加があったものの、連結粗利益や株式等関係損益が増加したことで、経常利益は前年同期を12億68百万円上回る29億16百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を8億93百万円上回る20億29百万円となりました。

銀行単体は、経費の増加や国債等債券損益(5勘定戻)の減少があったものの、資金利益や役員取引等収益の増加により、実質業務純益は前年同期を6億82百万円上回る16億11百万円となりました。

また経常利益は、実質業務純益の増加に加え、株式等損益(3勘定戻)が増加したため前年同期を13億42百万円上回る26億51百万円となりました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期を10億2百万円上回る19億18百万円となりました。

(単位：百万円)

連結	2024年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	前年同期比
0 経常収益	15,680	17,769	2,089
1 連結粗利益 ※	8,398	9,272	874
2 資金利益	6,782	7,407	625
3 役員取引等利益	1,495	1,792	297
4 その他業務利益	120	72	△48
5 経費(除く臨時損益)	7,107	7,319	212
6 貸倒償却引当費用	121	226	105
7 貸出金償却	39	42	3
8 個別貸倒引当金繰入額	180	235	55
9 一般貸倒引当金繰入額	△94	△47	47
10 偶発損失引当金繰入額	△3	△3	-
11 債権売却損	-	-	-
12 その他の与信費用	-	-	-
13 貸倒引当戻入益	-	-	-
14 償却債権取立益	117	31	△86
15 株式等関係損益	366	1,110	744
16 その他の臨時損益	△3	48	51
17 経常利益	1,648	2,916	1,268
18 特別損益	△1	△15	△14
19 税金等調整前四半期純利益	1,647	2,900	1,253
20 法人税、住民税及び事業税	268	642	374
21 法人税等調整額	242	228	△14
22 法人税等合計	510	871	361
23 四半期純利益	1,136	2,029	893
24 非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-
25 親会社株主に帰属する四半期純利益	1,136	2,029	893

※ 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

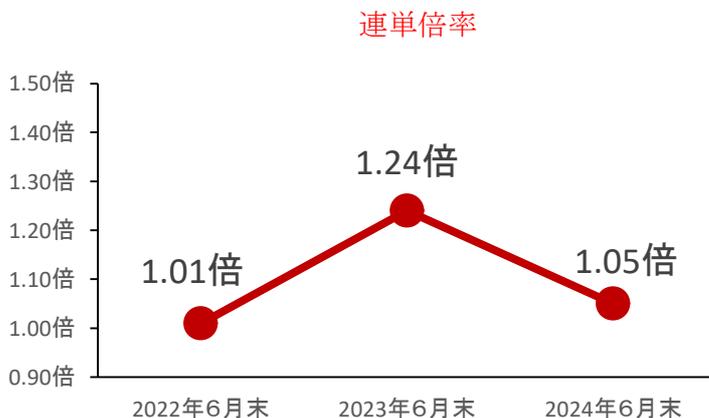
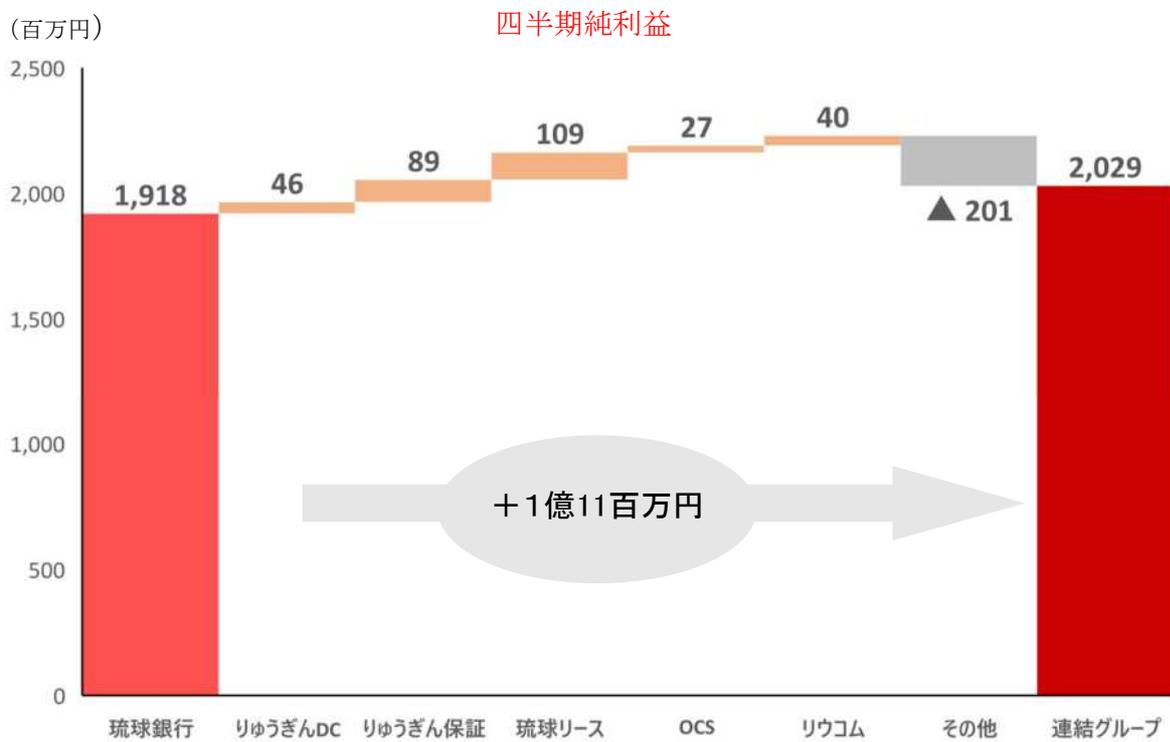
(2) 参考 連結子会社の損益の状況

**連結**

(単位：百万円)

2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	連結	琉球銀行	りゅうぎん DC	りゅうぎん 保証	琉球リース	OCS	リウコム	その他※
経常収益	17,769	11,854	470	162	4,625	477	846	△667
経常利益	2,916	2,651	78	134	157	36	56	△197
四半期純利益	2,029	1,918	46	89	109	27	40	△201

※「その他」には内部消去、りゅうぎんビジネスサービス(株)、(株)りゅうぎん総合研究所が含まれております。  
また、「その他」にはのれんの償却費や連結上の処理が含まれているため各社の数値はセグメント表とは一致いたしません。



2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

2. 損益の概況【単体】

(1) 概況

(単位：百万円)

単体		2024年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	前年同期比	2025年3月期 通期予想 (12ヵ月累計)
0	経常収益	10,294	11,854	1,560	
1	業務粗利益	7,406	8,243	837	
2	資金利益	6,771	7,590	819	
3	役務取引等利益	916	1,227	311	
4	その他業務利益	△281	△575	△294	
5	外国為替売買損益	△305	△407	△102	
6	国債等債券損益（5勘定戻）	24	△168	△192	
7	うち売却益	98	72	△26	
8	うち売却損	74	241	167	
9	うち償還損	-	-	-	
10	経費（除く臨時処理分）	6,477	6,631	154	
11	人件費	2,802	2,939	137	
12	物件費	3,188	3,200	12	
13	税金	486	491	5	
14	実質業務純益 ※1	929	1,611	682	7,200
15	コア業務純益 ※2	905	1,779	874	
16	除く投資信託解約損益	857	1,779	922	
17	一般貸倒引当金繰入額	-	△22	△22	
18	業務純益	929	1,634	705	7,500
19	臨時損益	379	1,016	637	
20	うち株式等損益（3勘定戻）	366	1,110	744	
21	売却益	370	1,110	740	
22	売却損	-	-	-	
23	償却	4	-	△4	
24	うち不良債権処理額	35	147	112	
25	うち貸倒引当金戻入益	27	-	△27	
26	うち一般貸倒引当金	98	-	△98	
27	うち個別貸倒引当金	△70	-	70	
28	うち償却債権取立益	109	21	△88	
29	うちその他の臨時損益	-	32	32	
30	経常利益	1,309	2,651	1,342	7,500
31	特別損益	△1	△15	△14	
32	税引前四半期純利益	1,307	2,636	1,329	
33	法人税、住民税及び事業税	118	467	349	
34	法人税等調整額	272	250	△22	
35	法人税等合計	391	717	326	
36	四半期(当期)純利益	916	1,918	1,002	5,200
37	ネット与信費用（17+24-25-28）	△102	103	205	
38	顧客向けサービス利益 ※3	856	1,181	325	

※1 「実質業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額を除く業務純益。

※2 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額及び国債等債券損益（5勘定戻）を除く業務純益。

※3 「顧客向けサービス利益」＝預貸金収支＋役務利益－経費（経費のうち人件費は臨時処理分控除前）

**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

**（2）損益分解情報**

顧客向けサービス利益は、営業経費は増加したものの、預貸金収支および役務利益の増加により、前年同期を3億25百万円上回りました。

市場部門損益は、国債残高増加による利息配当金増加等に加え、外債調達コストの減少および、株式売却益の増加により前年同期を11億12百万円上回りました。

与信コストは主に一般貸倒引当金繰入および個別貸倒引当金繰入が増加したことにより、前年同期を2億5百万円上回りました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期を10億2百万円上回る19億18百万円となりました。

（単位：百万円）

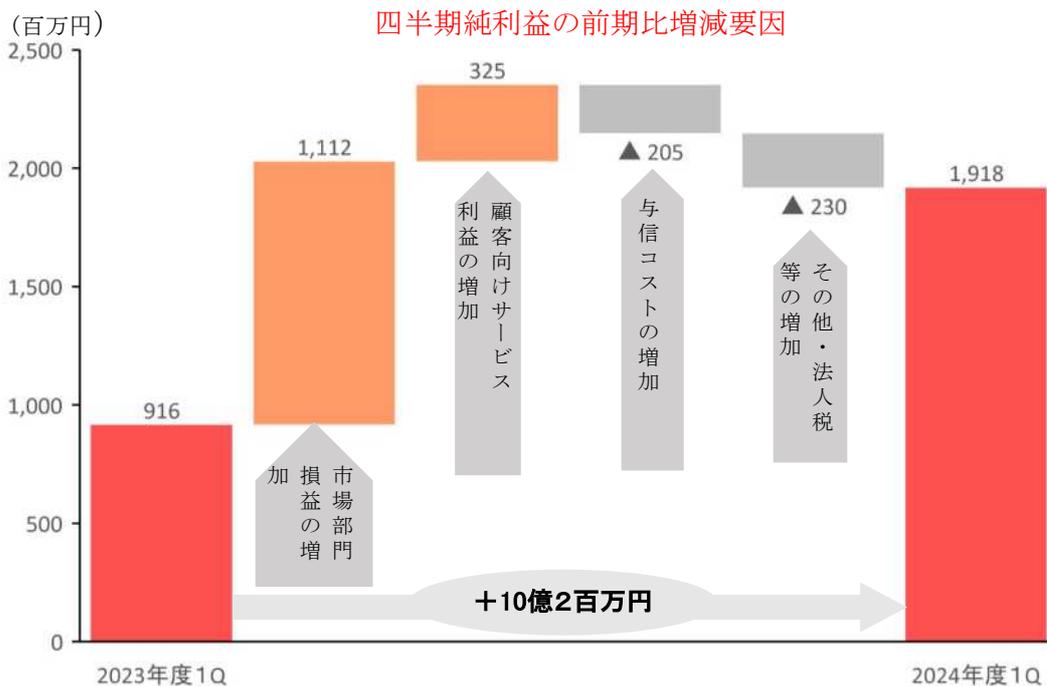
単体	2024年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	前年同期比
1 顧客向けサービス利益 ※1	856	1,181	325
2 うち預貸金収支 ※2	5,583	5,816	233
3 うち役務利益 ※3	1,757	1,995	238
4 うち営業経費	△ 6,484	△ 6,630	△ 146
5 市場部門損益	432	1,544	1,112
6 うち利息配当金	726	1,116	390
7 うち預け金利息	60	34	△ 26
8 うち外為売買損益	△ 305	△ 407	△ 102
9 うち債券5勘定戻	24	△ 168	△ 192
10 うち株式3勘定戻	366	1,110	744
11 うち債券貸借取引支払利息	△ 437	△ 168	269
12 与信コスト関連 ※4	102	△ 103	△ 205
13 うち一般貸倒引当金繰入 ※4	98	22	△ 76
14 その他・法人税等	△ 474	△ 704	△ 230
15 四半期純利益	916	1,918	1,002

※1 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費

※2 預貸金収支（貸出金利息から支払ローン関係手数料相当額を控除。預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース）

※3 役務利益（支払ローン関係手数料除く）

※4 与信コストについては、戻入は正の表示、繰入は負の表示



2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

3. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金（単体・末残および利回り）の推移

預金（末残）は、個人預金の残高が依然として高いまま推移した結果、前年同期末を691億円上回る2兆8,488億円となりました。前年度末比では地方公共団体の残高が減少したことで16億円下回りました。預金利回りは、預金金利の上昇により、2023年度下期比0.014ポイント上昇の0.017%となりました。

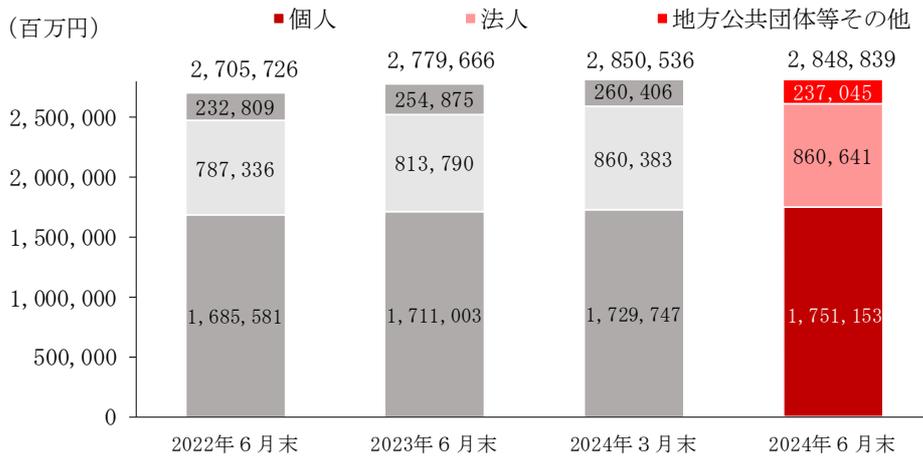
単体

（単位：百万円）

	2022年6月末	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	2023年6月末比	2024年3月末比
預金（期末残高）※	2,705,726	2,779,666	2,850,536	2,848,839	69,173	△ 1,697
個人	1,685,581	1,711,003	1,729,747	1,751,153	40,150	21,406
法人	787,336	813,790	860,383	860,641	46,851	258
地方公共団体等その他	232,809	254,875	260,406	237,045	△ 17,830	△ 23,361
預金（平均残高）※	2,665,227	2,776,550	2,778,869	2,832,301	55,751	53,432

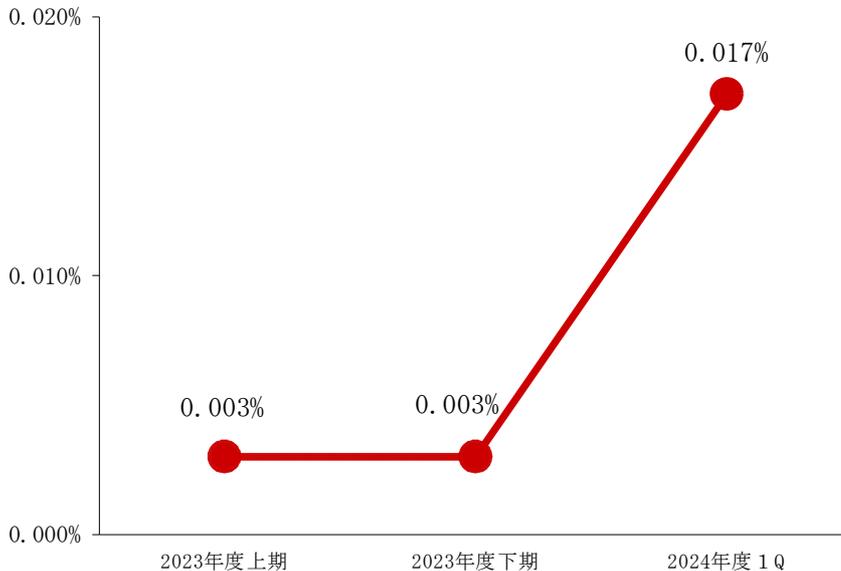
※譲渡性預金を含む

預金残高（末残）



※譲渡性預金含む。

預金利回り



2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

(2) 預かり資産（単体・末残）の推移

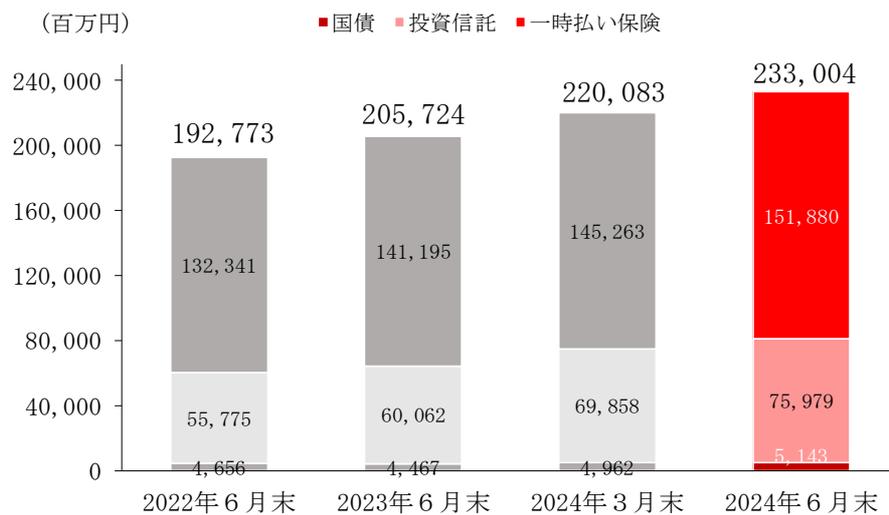
預かり資産は、円建保険の販売が高水準で推移したこと並びに投資信託の評価額上昇による残高増加により、前年同期末を272億円上回る2,330億円となりました。

単体

(単位：百万円)

	2022年6月末	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	2023年6月末比	2024年3月末比
預かり資産	192,773	205,724	220,083	233,004	27,280	12,921
国債	4,656	4,467	4,962	5,143	676	181
投資信託	55,775	60,062	69,858	75,979	15,917	6,121
一時払い保険	132,341	141,195	145,263	151,880	10,685	6,617

預かり資産残高（末残）



**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

(3) 貸出金（単体・末残および利回り）の推移

貸出金（末残）は、個人向け貸出では、主に住宅ローンが増加したこと、法人向け貸出も好調に推移したことから、前年同期末を625億円上回る1兆8,936億円となりました。前年度末比では地方公共団体向けが減少したことから95億円下回りました。

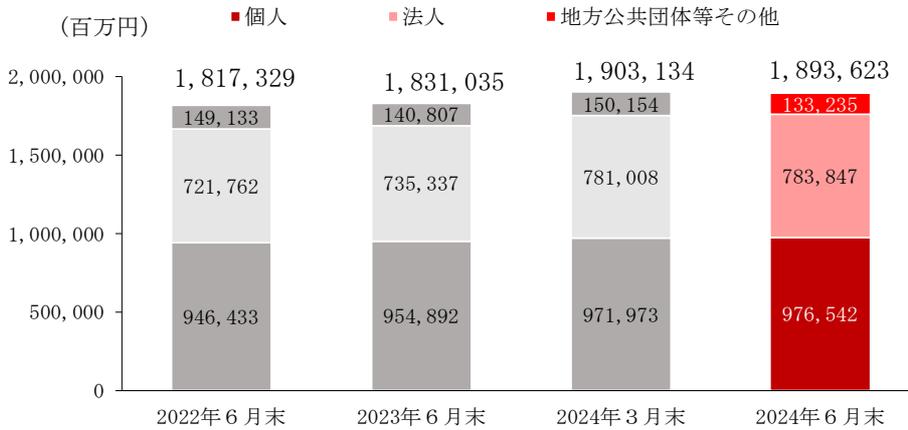
貸出金利回りは、大口未収利息回収等の影響もあり、2023年度下期比0.028ポイント上昇の1.432%となりました。

**単体**

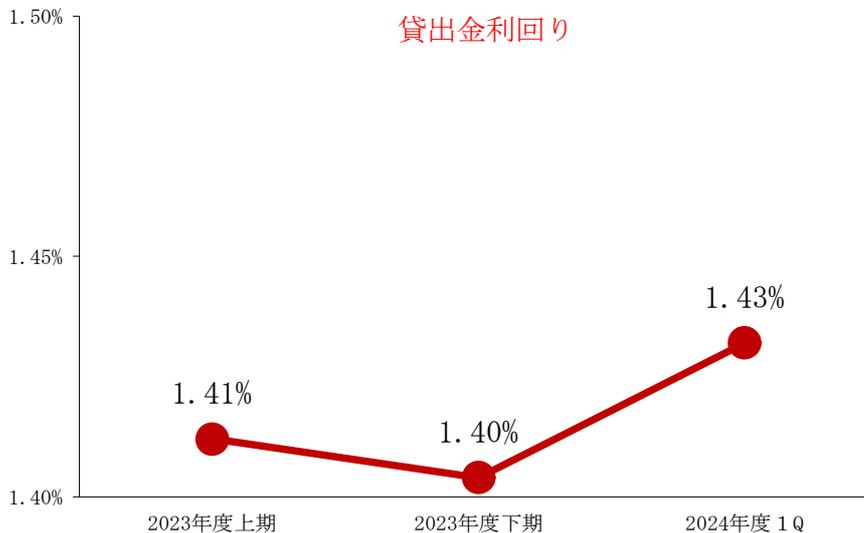
（単位：百万円）

	2022年6月末	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	2023年6月末比	2024年3月末比
貸出金（期末残高）	1,817,329	1,831,035	1,903,134	1,893,623	62,588	△ 9,511
個人	946,433	954,892	971,973	976,542	21,650	4,569
法人	721,762	735,337	781,008	783,847	48,510	2,839
地方公共団体等その他	149,133	140,807	150,154	133,235	△ 7,572	△ 16,919
貸出金（平均残高）	1,808,374	1,832,022	1,839,478	1,876,557	44,535	37,079
期末個人残高のうち住宅ローン	547,162	557,782	572,542	576,995	19,213	4,453

**貸出金残高（末残）**



**貸出金利回り**



**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移

国内・海外金利の上昇に伴い、円貨債券やその他有価証券（外貨債券や投資信託）の評価損が増加しました。一方、株式は売却により評価益は減少したものの、相場が堅調だったことから評価益を維持しました。その結果、有価証券評価差額全体では評価損が前年度末比約45億円増加しました。

国内債券のデュレーションは3年程度となっていることから、金利上昇局面でも決算への影響は限定的と見ております。国内外の債券や株式などの資産を戦略的に配分することでポートフォリオの収益性向上を目指します。

**連結**

①満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	・過年度比較	2023年6月末比	2024年3月末比
帳簿価額	70,762	76,465	79,268	帳簿価額	8,506	2,803
含み損益	227	△ 150	△ 610	含み損益	△ 837	△ 460

②その他有価証券

(単位：百万円)

	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	・過年度比較	2023年6月末比	2024年3月末比
帳簿価額計	415,017	611,939	716,911	帳簿価額計	301,894	104,972
株式	1,648	2,401	1,381	株式	△ 267	△ 1,020
円貨債券※	302,574	507,617	621,879	円貨債券※	319,305	114,262
その他	110,794	101,919	93,650	その他	△ 17,144	△ 8,269

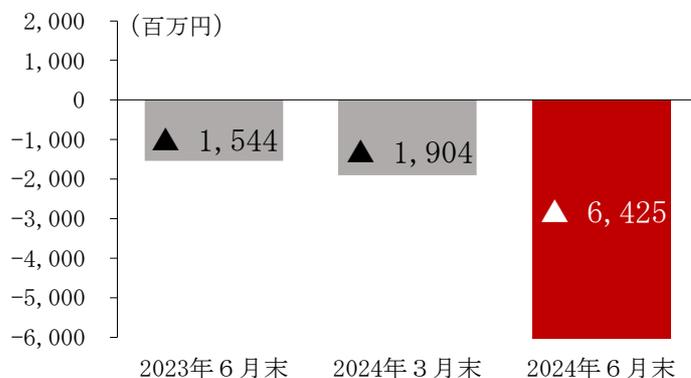
	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	・過年度比較	2023年6月末比	2024年3月末比
評価損益計	△ 1,544	△ 1,904	△ 6,425	含み損益	△ 4,881	△ 4,521
株式	813	1,366	608	株式	△ 205	△ 758
円貨債券※	△ 70	△ 2,425	△ 5,561	円貨債券※	△ 5,491	△ 3,136
その他	△ 2,287	△ 846	△ 1,472	その他	815	△ 626

「評価差額」及び「含み損益」は、基準日時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

※円貨債券は、国債、地方債、社債を計上しております。

**連結**

時価のある有価証券の評価差額



2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

(5) 金融再生法開示債権の推移

金融再生法開示債権(単体)は、一部の事業者において、業況の悪化が見られ危険債権と要管理債権が増加した結果、開示債権比率は、前年度末比0.15ポイント上昇の2.50%となりました。当行は、事業者の事業継続可能性を見極めながら今後も地域金融機関に求められる役割をはたすべく、引き続きお客様支援を実施してまいります。

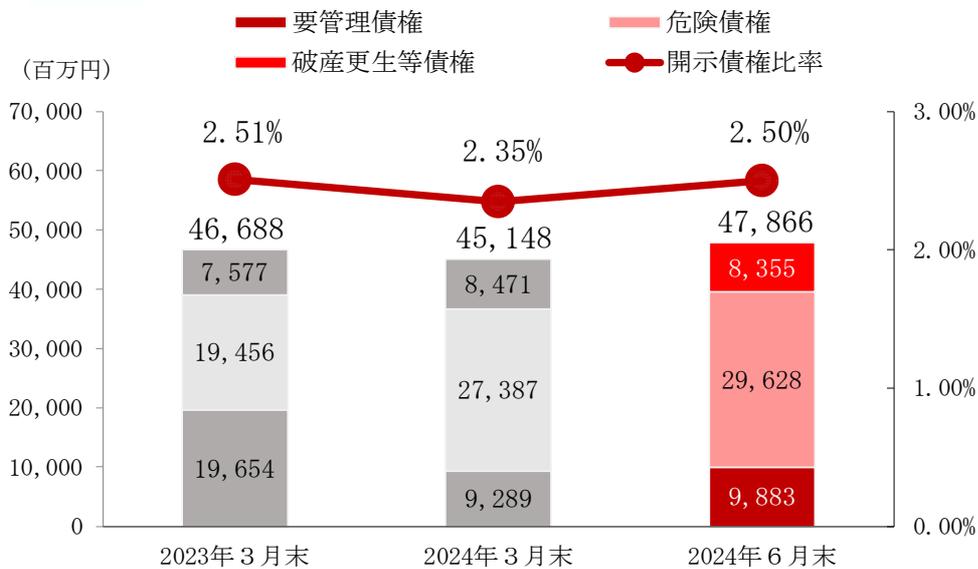
単体

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2023年3月末	2024年3月末	2024年6月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,577	8,471	8,355	2024年3月末比 △ 116
危険債権	19,456	27,387	29,628	2,241
要管理債権	19,654	9,289	9,883	594
合計	46,688	45,148	47,866	2,718
	(単位：%)			(単位：%)
開示債権比率	2.51	2.35	2.50	0.15

連結

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2023年3月末	2024年3月末	2024年6月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,774	10,831	11,093	2024年3月末比 262
危険債権	19,481	27,414	29,653	2,239
要管理債権	20,031	9,742	10,334	592
合計	49,287	47,988	51,082	3,094
	(単位：%)			(単位：%)
開示債権比率	2.65	2.50	2.67	0.17

単体



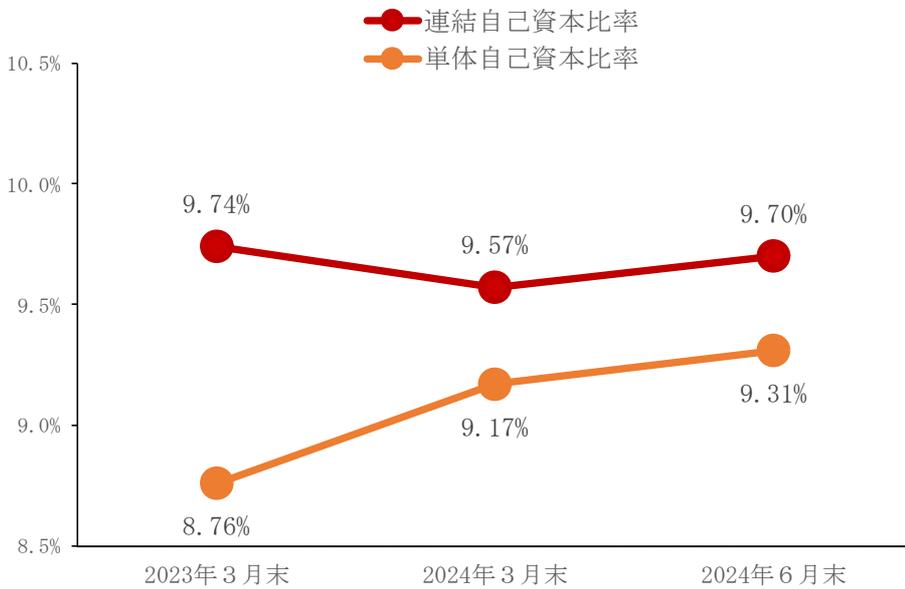
**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

(6) 自己資本比率（連結・単体）の推移

リスク・アセットの減少および利益の積み上げ等により、連結自己資本比率は2024年3月末比0.13ポイント上昇の9.70%となり、単体自己資本比率は2024年3月末比0.14ポイント上昇の9.31%となりました。2024年9月末は、連結は9.6%台、単体は9.2%台をそれぞれ予想しています。

**単体・連結**

自己資本比率	(単位：%)			(単位：ポイント)
	2023年3月末	2024年3月末	2024年6月末	2024年3月末比
単体	8.76	9.17	9.31	0.14
連結	9.74	9.57	9.70	0.13



**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

(7) カード業務利益の推移

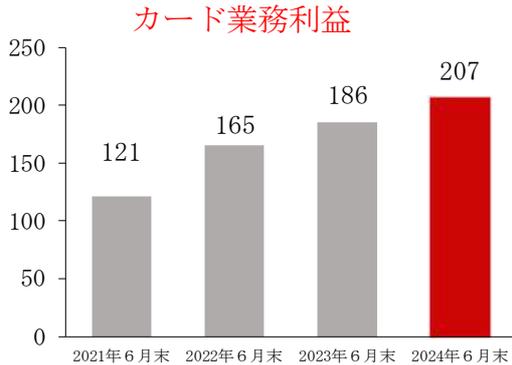
単体

	2023年6月末	2024年6月末	2023年6月末比
カード業務利益	186	207	21
カード業務収益	552	640	88
カード業務費用(△)	366	433	67

(単位：百万円)

※銀行本体で行っているりゅうぎんVisaデビットカード発行業務およびカード加盟店業務における役務利益。

(百万円)



(8) りゅうぎんVisaデビットカード会員数および加盟店契約数の推移

単体

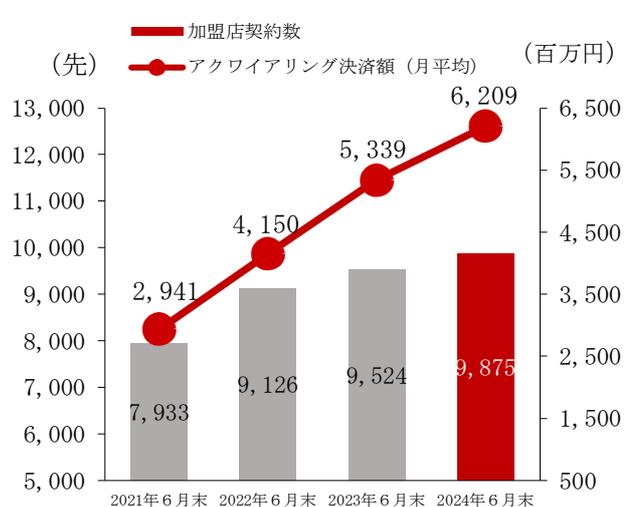
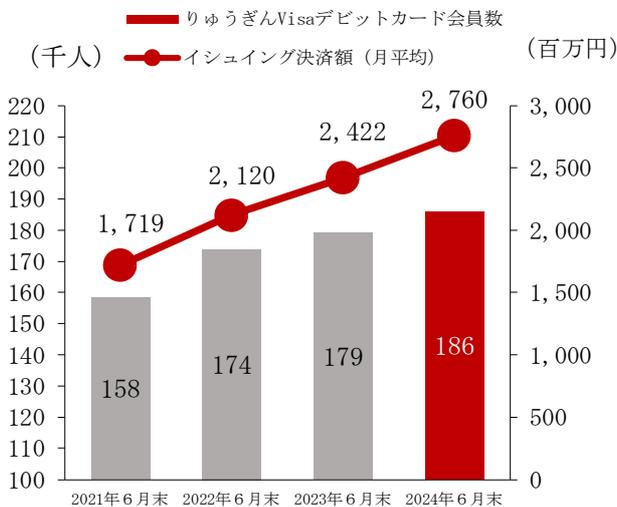
	2023年6月末	2024年6月末	2023年6月末比
りゅうぎんVisaデビットカード会員数	179	186	7
決済額(イシューング)※	2,422	2,760	338
加盟店契約数	9,524	9,875	351
決済額(アクワイアリング)※	5,339	6,209	870

(単位 会員数：千人、契約数：先、決済額：百万円)

※決済額：1ヵ月間の合計決済額の平均(6月期は4月～6月の3ヵ月平均)

りゅうぎんVisaデビットカード会員数および決済額

カード加盟店契約数および決済額



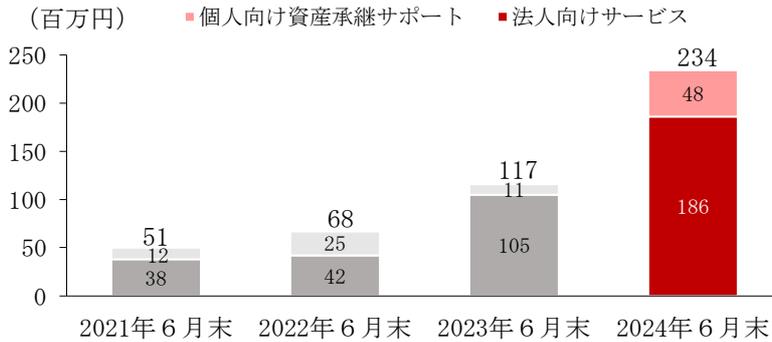
**2025年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**

(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移

**単体**

(単位：百万円)

	2023年6月末	2024年6月末	2023年6月末比
コンサルティング業務利益	117	234	117
法人向けサービス	105	186	81
個人向け資産承継サポート	11	48	37



(10) リース業務利益（連結）の推移

**連結**

(単位：百万円)

	2023年6月末	2024年6月末	2023年6月末比
リース業務利益	350	407	57

